

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

北海道音威子府村

経常収支比率の分析

人口	797人 (H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	795人 (H25.3.31現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	275.64 km ²	実質公債費比率	5.3%
歳入総額	2,209,530千円	将来負担比率	-%
歳出総額	2,132,808千円	市町村類型	H20 I-2 H21 I-2 H22 I-2
実質収支	63,701千円	(年度毎)	H23 I-2 H24 I-2
標準財政規模	1,678,706千円		
地方債現在高	1,737,420千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



類似団体内順位 68/78 全国平均 13.3 北海道平均 11.7

物件費の分析欄
 物件費は類似団体平均より大きく上回っており、この理由として庁舎管理を始めとした公共施設等維持管理、また各種機器の保守管理等の委託料が挙げられる。現状より大幅に上昇しないよう管理委託契約等を行っていく。



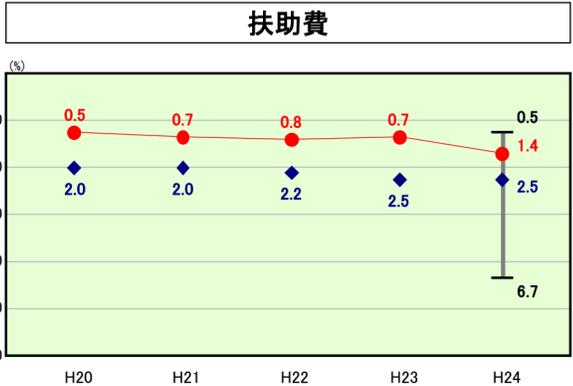
類似団体内順位 60/78 全国平均 24.8 北海道平均 21.9

人件費の分析欄
 人件費に係るものは、類似団体と比較して高い水準にあるが、これは村立高等学校の運営により職員数が類似団体より比較して多いためである。一方で、前年度より7.9ポイント減少しているのは、定年退職者の増によるものである。今後も、運営の効率化などを図りながら増加しないよう努めていく。



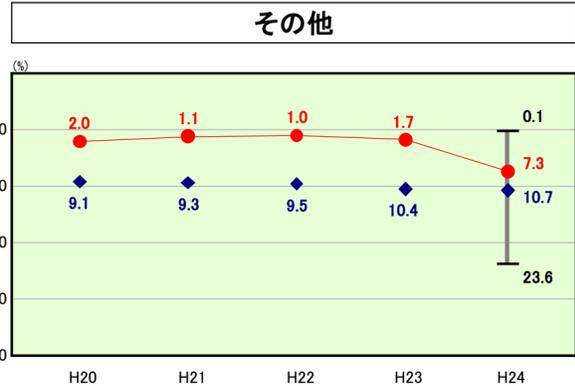
類似団体内順位 63/78 全国平均 10.1 北海道平均 11.5

補助費等の分析欄
 補助費は類似団体より3.7ポイント上回っている。これは、事務組合への負担金(消防)が主なものである。今後も、事務組合と連携しながら適正な支出に努めていく。また、補助金等においても精査しながら適正な支出に努めていく。



類似団体内順位 22/78 全国平均 11.2 北海道平均 10.3

扶助費の分析欄
 扶助費に係る経常収支比率は、類似団体を下回っているが、前年度より0.7ポイント増となっている。これは高齢化等が進んでいるためであり、今後も増加する可能性がある。故に、増加を少しでも抑えるよう努めていく。



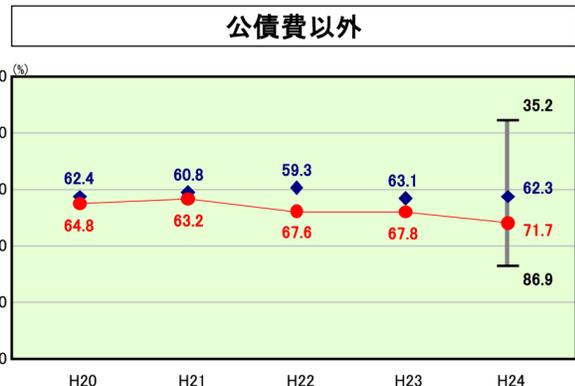
類似団体内順位 20/78 全国平均 12.5 北海道平均 12.9

その他の分析欄
 類似団体平均よりも3.4ポイント上回っている。これは各種基金積立の増加によるものである。今後も健全な財政運営を努めていく。



類似団体内順位 23/78 全国平均 18.8 北海道平均 19.9

公債費の分析欄
 公債費について、前年度は類似団体平均とほぼ同水準であったが、24年度では類似団体平均より3.8ポイント減少に転じた。今後も大幅な上昇が無く推移していくものと思われる。



類似団体内順位 62/78 全国平均 71.9 北海道平均 68.3

公債費以外の分析欄
 公債費以外のポイントが高い主な要因は人件費であるが、これは人件費欄にもあるとおり、村立高校を運営している事による。今後も人件費を含め物件費、補助費等の適正な支出を行い、経費の上昇を抑えるよう努めていく。